

社会福祉法人東北福祉会

令和 8 年度 事業計画

1. 理念

すべての人がひとりの人間として尊重され、個性が輝く共生の地域づくり

2. 重点事項と取組内容

(1) 法人経営の安定化への取り組み

- ①全拠点の収支プラス化に向けた実践
- ②低稼働事業、収支がマイナス事業の課題分析と改善
- ③改善が見込めない事業の廃止または事業転換の実施
- ④高稼働事業における更なる利用率向上を図るため、新規入居者受入 1 週間ルールの徹底や在宅サービスにおけるリピーターの確保
- ⑤各事業の業務内容の分析・見直しによる効果的かつ適正な職員配置の実施
- ⑥不要かつ慢性的な超過勤務・休日出勤の削減
- ⑦令和 8 年度以降を見据えた大規模修繕計画の策定
- ⑧持続可能な人件費の捻出のための給与規程の見直し
- ⑨借入金の適正化による法人の財務体質の強化

(2) 社会のニーズに沿った事業への取り組み

- ①現行障害者（児）サービス事業の拡充と新規事業の準備
- ②有事に備えた B C P に基づく訓練・研修の実施
- ③第二期中期行動計画の策定

(3) 組織体制の強化と人財育成

- ①法人理念達成のための人財評価制度の見直し
- ②新しい人財評価制度に基づく人財評価を基にした組織再編とガバナンスの強化を令和 8 年度から 3 年以内に実施
- ③各職位の職務内容の見直しにより拠点による業務の統一化
- ④人員体制の強化と職員のキャリア支援を踏まえた拠点間人事異動の実施
- ⑤法人理念の達成を目指した研修内容の見直し
- ⑥虐待・権利侵害の根絶に向けた教育の強化
- ⑦東北福祉大学実習支援センターとの連携による実習生の受入強化
- ⑧法人内広報誌をととしたコミュニケーションによる組織の一体感の形成と活性化の推進

(4) 人財確保と働き方改革の取り組み

- ①東北福祉大学教員並びにキャリアセンターとの連携強化による新規学卒人財の確保
- ②業務内容の分析と見直しを行い、非専門性業務における学生アルバイト等を活用する
- ③限定業務（夜勤・入浴・食事介助等）における学生等アルバイト（非常勤職員）の活用
- ④高齢者雇用、障がい者雇用等の特定求職者の積極的な活用
- ⑤生産性向上を目指した I C T ・ロボット等の導入と有効活用のための勉強会の実施
- ⑥働き方改革への取り組みの継続
- ⑦将来を見据え外国人財の雇用に向けた情報収集の継続
- ⑧定年延長と再雇用制度の見直しによる働く環境の整備

(5) 地域共生の更なる深化

- ①地域の関係団体、組織等との定期的な話し合いにより必要とされるサービスの情報収集
- ②地域が必要とする公益活動の実践

3. 中期行動計画に基づく取組事項（※令和4年度からの取組事項含む）

（1）人財採用チーム

- ①HPとSNS広告＋ペーパー広告の活用検討（終了）
- ②求才オペレーションの再検討（継続）

（2）人財育成・評価チーム

- ①法人階層別研修プログラムの整理・策定（継続）
- ②領域別専門教育の促進（終了）
- ③退職リスクの低減に向けた仕組の構築（継続）
- ④個人面談によるキャリアデザインの希望の把握と学習支援の実施（継続）
- ⑤社会福祉士会、介護福祉士会等との連携による研修の企画と実施の検討（継続）

（3）BCP策定ワーキングチーム（終了）

- ①火災・地震・浸水（風水害）・感染症対策BCPの策定（終了）
- ②防犯器具の整備・防犯訓練の実施（終了）

（4）労働安全チーム

- ①5S活動と労働安全推進活動の実施（継続）
- ②職場環境や労働者の安全意識の啓発などに関する労働安全推進者の選任（終了）
- ③衛生委員会による職場巡視チェック体制構築（終了）
- ④労働災害発生原因の調査及び情報共有（継続）
- ⑤職場健康づくり風土の醸成のための取り組みの実施（継続）
- ⑥ストレスチェックの活用（継続）

（5）運営環境整備チーム

- ①くるみん認定（子育て支援）の推進（継続）
- ②広報体制の強化による組織の強化

（6）事業運営・企画チーム

- ①介護アシスタントの採用促進と育成（終了）
- ②スポットや限定業務などの導入と育成（終了）
- ③専門パート職員やその他の契約職員の採用・育成の促進と、それに応じた業務の見直し（終了）
- ④虐待防止・身体拘束原則禁止の推進（継続）
- ⑤満足度調査の実施、外部評価の実施（継続）
- ⑥一般監査・実地指導での指摘事項ゼロ・好事例の提供の実現（法人内の好事例収集と公開）（継続）
- ⑦IT機器や介護機器の活用検討（継続）
- ⑧交流イベントの実施（継続）
- ⑨町内会や老人クラブ、サークル活動への参加・協力（継続）
- ⑩地域住民のコミュニケーションネットワークへの参画（継続）

（7）経営会議

- ①職員満足度調査の実施（終了）
- ②TFUグループにおける認知症対策を中心としたネットワーク化への参加・協力（継続）
- ③実習生の受入れや研修等の実施、大学院進学等による次代を担う人財の育成（継続）
- ④老朽整備計画に基づく対策の実施（別途計画書の作成）（継続）
- ⑤収益増対策計画に基づく対策の実施（別途計画書の作成）（継続）
- ⑥補助金、助成金を活用した事業展開（継続）
- ⑦拠点ごとの公益的取組の整理と法人の一体的取組の実践（継続）
- ⑧住民ニーズに応じた補完的サービスの検討（継続）
- ⑨多様な働き方に関する検討（継続）
- ⑩住民ニーズ調査とニーズ把握（新規）

4. チーム体制と取組事項

（1）人財採用チーム

- ①法人全体の職員充足率（過不足）を定期的に把握し、採用計画の策定を行う

- ②新卒者対象の採用試験実施時期を早期化し、より良い人財の確保に向けた取組を行う
- ③東北福祉大学との連携を強化し、インターンシップの受入れの強化、実習修了者・学生アルバイトの採用枠を有効活用し、即戦力候補となる人財確保に向けた取組を行う
- ④外国人人材の採用に関する情報収集等を継続して行い、必要に応じて外国人人材の活用（雇用）に関する検討・提案を行う
- ⑤法人の魅力発信や人財採用活動に対して SNS（Instagram・スレズ・YouTube 等）の活用を行う。また、新規学卒者・中途採用希望等の求職者が望む内容の発信を定期的に行う

（２）人財育成チーム

- ①法人階層別研修については、令和 7 年度の研修内容を基本とし実施するが、特に「経営・管理職」向け研修においては外部講師（他事業所の管理者、一般企業経営者、その他等）を招き、研修を実施し経営に関する視点・知識・意識の向上を図る
- ②領域別専門教育の促進のため、複数領域（児童・障がい・高齢）事業を実施する「せんだんの杜」において、拠点内研修を複数回実施する（実施に際しては、他拠点にも事前周知を行い、参加を促す）
- ③退職リスク軽減につながる講義内容を研修プログラムに盛り込む

（３）運営環境整備チーム

- ①総務部課長会議
 - ・法人経営の向上に向けた取組、経営層並びに他チームへの情報発信、協力、提案の実行
 - ・労働安全チームと連動した「すべての職員」が働きやすい職場づくりの推進
 - ・くるみん認定継続の取組の推進
- ②広報編集会議
 - ・広報体制強化による組織強化のため、法人の広報誌（職員情報誌）の編集と発行を行う
 - ・広報誌は職員のコミュニケーションの向上と、法人としての一体感の形成を目的とする

（４）労働安全チーム

- ①ストレスチェックを活用し、職員のメンタルヘルス対策の一層の充実を図る
- ②労働災害の調査結果に基づき、発生要因及び防止策の周知徹底を行い、再発防止と未然防止を推進する
- ③管理監督者を対象としたメンタルヘルス研修（管理者向けラインケア）を実施し、管理体制の強化を図る
- ④ 5 S 活動の成果を取りまとめ、全職員への周知徹底と定着化を推進する
- ⑤協会けんぽの「職場健康づくり宣言」を継続し、職場における健康づくり施策の推進を図る

（５）事業運営・企画チーム

- ①法人内各チームとの協働を基に、働きやすい職場環境づくりに取り組み、人財の流出を防ぐ
- ②フルタイムで勤務する人財だけでなく、パート職員や介護助手等を有効活用していき、超過勤務の軽減を図ると共に、多様なニーズに応える対応力を強化する
- ③ICT・介護ロボ等の導入を積極的に行い、生産性の向上だけでなく、職員の心身の負担軽減につなげ、人財の定着を図る
- ④サービスの質向上、利用者満足度を高めるために、職種に応じた学びの機会を創出し、知識・技術・態度の会得、向上に努める
- ⑤虐待防止・身体拘束の適正化等に対して、チーム全体で真摯に取り組み、人権や尊厳を守るための組織づくりを行う
- ⑥上記①から⑤を具現化するために、各職層における法人内交換研修を実施し、自施設の良さ、改善点を認識し、より充実した利用者支援の質の向上、職場環境改善に積極的に取り組む

（６）実習支援チーム

- ①指導者による講和等を一堂に会して実施することにより、実習受け入れ体制の整理及び合理化を推進する

- ②教育機関との連携を一層強化し、福祉職の魅力発信及び組織的な人財育成の推進を図る
- ③実習教育を通じて法人の魅力向上を図り、将来を見据えた人財の確保につなげる
- ④実習受け入れに関する倫理行動指針を策定し、適正かつ円滑な実習運営を推進する

5. 組織体制（※別添組織体制図参照）

6. 人員体制（※別添人員体制資料参照）

7. 各拠点の取組事項

(1) せんだんの杜

①目標

全職員が一丸となり、理念実現に向けた実践をすることで、盤石な経営及び運営に繋がる取り組みをする

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

- ・各サービスの利用率の向上（介護保険分野の空床期間の減少／障害福祉サービス分野の利用率増加による収入増、柔軟化された職員体制からの人件費の適正化）
- ・法令・就業規則等の遵守、ガバナンスの強化を図り、理念に向かいルールを守る職員が安心して仕事に専念できる組織体制作り、職場環境作りを実施する
- ・役職者は、理念・方針の体現者としてお手本となる人物像をより追求し実践する。理念・方針に基づかない人柄・態度・業務姿勢等の職員への対応を怠ることなく、正しく健全に仕事のできる環境整備を徹底する
- ・すべての職員が、誰に対しても、ハラスメント・権利侵害をしない職員教育と実践を徹底し、服務心得に掲げられる人物像を目指す

【地域における公益的な取組】

- ・認知症カフェ、ボランティア受け入れ等、地域との交流に繋がる事業は積極的に実施する。
- ・せんだんの杜・地域共にメリットある運営推進会議等を実施する
- ・高齢者福祉施設、児童福祉施設がある強みを活かし、子供、障がい者、高齢者が地域住民との交流が促進される取り組みを実践する（認知症カフェと保育園及び障がい事業のコラボ等）

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和8年1月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和8年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	36	97.0%	94.5%
2	同上（ユニット型）	18	96.0%	95.5%
3	ケアハウスフェリコ館	30	100%	94.8%
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	91.4%	84.9%
5	国見ヶ丘地域包括支援センター（予防）	—	3,300 件	3,240 件
6	遊杜家（放課後等デイサービス）	20	115%	113%
7	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	100%	98.6%
8	杜の工房（就労継続支援B型）	20	85.0%	70.3%
9	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	105	100%	98.0%
10	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	12※	—	100%
11	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	3,500 件	3,360 件
12	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	88.0%	66.0%
備考	※R8.4より、No10 国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園は少子化に伴い本園に統合。			

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. リベラ荘・フェリコ館 非常灯更新工事	
必要性	建築基準法第12条の規定に基づく特定構築物定期調査報告書指摘事項のため
購入内容	非常灯更新工事
発注予定先	スイッチオン
予定価額	1,419,000円
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金

2. リベラ荘・フェリコ館エレベーター修繕工事	
必要性	設置から30年経過しており、修繕が必要
購入内容	エレベーター修繕工事
発注予定先	ジャパンエレベーターサービス（株）
予定価額	3,520,000円
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金

3. リベラ荘・フェリコ館非常放送設備入替	
必要性	設置から30年経過しており、入替が必要
購入内容	非常放送設備入替
発注予定先	ニッタン（株）
予定価額	3,619,000円
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金

4. リベラ荘・フェリコ館・国見ヶ丘せんだんの杜保育園電話設備入替 リベラ荘フェリコ館Wi-Fi入替工事	
必要性	電話設備については、部品提供が終了しているため入替が必要 Wi-Fiについては、サポートを終了しているため、入替が必要
購入内容	電話設備入替・Wi-Fi入替
発注予定先	東通インテグレート（株）
予定価額	6,894,800円
支払方法	7年リース
支払資金	経常資金

(2) せんだんの杜ものう

①目標

- ・事業経営の安定化、継続化への取組み
- ・法人理念達成に向けた組織体制の強化、人財確保と育成
- ・地域共生と地域ニーズに即したサービス展開への取組み

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

- ・入居系サービス（特養・グループホーム）の空室期間を、退去後 7 日間以内とすることで平均稼働率 97%以上に取り組む
- ・在宅サービス（訪問介護・通所介護）の稼働率向上に向け、桃生地区内だけでなく近隣地域からの利用者獲得に向けて情報発信の強化に取り組む
- ・入院・退去等による空床が生じた際の、空床利用を積極的に行うと共に、ケアマネジャー等との情報共有を密に行う
- ・地域ニーズを加味した上で、障がい福祉サービス立ち上げを視野に入れた活動に取り組む
- ・動画コンテンツを活用した日々の学びや自己啓発の機会を拡充し、職員個々のスキルアップに取り組む
- ・人権の尊重、尊厳の保持を意識し、虐待の防止や身体拘束をしないケア（適正化）の継続を職員全体で取り組む
- ・職員が働きやすい環境を目指し、ICT 機器の導入・活用、面談（コミュニケーション）機会の確保、ハラスメント等に関する勉強会等を定期的に行う
- ・物価高騰、食材料費の高騰、建物・設備等の老朽化等に対して、管理を徹底すると共に、対応策を計画的かつ迅速に実施し、経営の安定化に取り組む

【地域における公益的な取組】

- ・「ものう食のフェスティバル」（年 1 回）、「地域食堂」（年 3～4 回）の実施を継続し、子どもからお年寄りまで気軽に集え、話ができる、顔が見える関係づくりの場の提供を行っていく
- ・認知症カフェ、介護者教室等、イベントを通じて相談ができる機会を継続して実施する
- ・ものう運営委員会の他、地域で開催される会議、協議会等へ参加し、地域の現状、課題等を把握・共有し、必要なサービス展開に取り組む
- ・小中学校との連携を強化し、福祉に関する興味・関心が持てるように働きかけを行っていく

③事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和 8 年 1 月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和 8 年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	62	98.5	97.5
2	地域福祉センター通所介護事業所(月～金)	30	80.0	69.4
3	ものう短期入所生活介護事業所	3	100.0	121.6
4	ものう訪問介護事業所	—	500 (時間)	523 (時間)
5	ケアハウスフェリカ	15	99.0	92.0
6	なかつやま第一通所介護事業所 (月～日)	10	休止中	65.0
7	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	99.5
10	ものう居宅介護支援事業所	—	100/月 (件)	100.5/月 (件)
11	石巻市ものう地域包括支援センター	—	110/月 (件)	104.2/月 (件)
12	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	20 (人)	12 (人)
13	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	40 (人)	29 (人)
備考	地域福祉センター通所介護事業所は、R5.4.1 より定員を 25 人から 30 人へ変更 なかつやま第一通所介護事業所は、R7.9.1 より休止中			

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 貯水槽加圧給水ポンプユニット更新工事	
必要性	開設（設置）以来26年が経過し、激しい異音やエラー頻度の増加によるもの。 （部品供給停止により修理不能なため、断水事故回避に向けた緊急更新）
購入内容	当該ポンプユニット更新工事
発注予定先	2者による見積合わせを実施し、最低価格を提示した業者に発注予定
予定価額	2,500,000円（税抜）※日中帯工事の場合
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金を充当

2. パソコンの入替について	
必要性	OS のサポート終了に伴うセキュリティ脆弱性の解消および重大な情報漏洩リスクの回避のため
購入内容	事業所内全 PC の入替
発注予定先	2～3者による見積合わせを実施し、最低価格を提示した業者に発注予定
予定価額	180,000円（税別）×39台＝7,020,000円
支払方法	60回払／予定月額リース料120,000円（税別）
支払資金	経常資金を充当

(3) せんだんの里

① 目標

- ・近隣地域の生活課題に即した「地域における公益的な取り組み」の実践をとおして、地域住民から信頼され、選ばれる運営を行う
- ・高齢者を始め障がいのあるなしに関わらず、支援を必要とする方が誰でも利用できる運営を行う
- ・サービス利用者の満足度を高めるための質の向上を図るとともに、利用の希望を断らないサービス提供をとおして、利用者本人とその家族の信頼を高める運営を行う

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

ア) 既存サービス機能の有効活用（法人経営の安定化への取り組み）

- ・入居系サービス（特養・グループホーム）について、サービス利用の稼働率を高い状態で維持するとともに、退居者が出た後の次の入居者が入るまでの期間について、平均1週間を目指す
- ・ショートステイについて、長期利用と短期利用のバランスを図り、稼働率を高める。
- ・デイサービスについて、在宅生活を支えるサービスとしての機能を発揮し、高い水準での平均稼働率を維持する
- ・居宅介護支援事業所について、新規利用者の獲得を図り担当件数の増を目指すとともに、地域の住民が気軽に相談できる環境を目指した職員体制の整備を行う。
- ・建物や設備の老朽化に備え、建物修繕や設備更新を行うための経費の圧縮や実施時期を見極めるための計画を作成する

イ) 職場環境の整備（組織体制の強化と人材育成）

- ・虐待、権利侵害、ハラスメントの根絶を目指した倫理教育の実践と、職員が双方向で意見を出し合える風通しのよい職場環境づくりを継続する
- ・将来の福祉人材を育成するという観点から、東北福祉大学を始め多くの実習生を受け入れ、雇用につなげる
- ・制度で定められた研修の他、必要な研修の見極めと身につく研修体系を構築する

ウ) 生産性の向上に向けた実践（人材確保と働き方改革の取り組み）

- ・近隣地域の高齢者や学生アルバイト、外国人労働者等多様な人材の活用と多様な働き方の環境づくりを行い、人材確保につなげる
- ・業務内容の見直しと切り分け、あわせて多様な人材活用により、サービスの提供に必要な人員を整え、超過勤務の削減と休日労働を行わない体制を整備する
- ・導入している各種システムやICT・ロボット等機器を活用し、サービスの質の向上と効率化を図る

【地域における公益的な取組】（社会のニーズに沿った事業への取り組み・地域共生の更なる深化）

- ・広報紙の発行や地域向けのイベント（認知症カフェ、施設見学会、秋まつり等）開催の他、近隣の住民が気軽に立ち寄れるカフェを運営し、施設の見える化と地域住民にとって身近な存在となる運営を目指す
- ・職員が能動的に行動できるようにBCPに基づいた研修と訓練の充実を図るとともに、平時から町内会や近隣地域の関係者等との関係を構築し、災害対応力を強化する
- ・空きユニット等を活用した主に障がい福祉サービス事業の新規事業を検討し、令和8年度中の開設を目指す（計画相談支援・障害児相談支援事業所、障害者グループホーム等）

② 事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和7年12月末日時点での稼働状況）

No	事業所名	定員 (人)	令和8年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	160	98.0%	98.0%
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス空床利用型を含む)	17	91.0%	91.0%
3	せんだんの里デイサービス	30	80.0%	80.6%
4	せんだんの里グループホーム	27	99.0%	99.0%
5	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	(休止中)	(休止中)
6	せんだんの里居宅介護支援事業所 (介護予防支援受託分を含む)	—	150.0/月(件)	138.9/月(件)
備考	・せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム：令和6年11月から休止)			

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. パソコンの入替	
必要性	OS Windows10 のサポート終了に伴い、セキュリティ脆弱性の解消および重大な情報漏洩リスクの回避のため
購入内容	令和8年度にリース満了となるパソコン 40 台
発注予定先	3 社見積合わせを実施し、最良の価格を提示した業者に発注予定
予定価額	9, 200, 000円＝230, 000円（税別）×40台
支払方法	60回払／予定月額リース料 約155, 000円（税別）
支払資金	経常資金を充当

2. デイサービスフロア床張り替え	
必要性	経年劣化による剥がれ、ささくれ等が生じており、つまずきなどの危険が増加しているため
購入内容	フロア床張り替え
発注予定先	3 社見積合わせを実施し、最良の価格を提示した業者に発注予定
予定価額	2, 100, 000円（税別）
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金を充当

3. 複合機の入替（3台）	
必要性	経年劣化により紙詰まりや印刷よごれが生じやすくなっている。また、複数メーカーの機種を併用しており、ランニングコストと手間が増加しているため
購入内容	複合機3台
発注予定先	3 社見積合わせを実施し、最良の価格を提示した業者に発注予定
予定価額	5, 000, 000円（上位機1台 標準機能機2台）
支払方法	60回払／予定月額リース料 約85, 000円（税別）
支払資金	経常資金を充当

4. 利用者居室和式トイレ改修	
必要性	使用できる身体機能を有する利用者がいないため
購入内容	2 部屋
発注予定先	3 社見積合わせを実施し、最良の価格を提示した業者に発注予定
予定価額	2, 0 0 0, 0 0 0 円（上位機 1 台 標準機能機 2 台）
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金を充当

5. 特別養護老人ホームユニット風呂更新	
必要性	故障により使用でいないため
購入内容	ユニット 1 機
発注予定先	3 社見積合わせを実施し、最良の価格を提示した業者に発注予定
予定価額	5, 0 0 0, 0 0 0 円
支払方法	7 2 回払／予定月額リース料 約 7 0, 0 0 0 円（税別）
支払資金	経常資金を充当

(4) せんだんの館

① 目標

- ・低稼働事業の課題を明確化し、具体的な改善策を講じることで、安定的な事業運営を目指す
- ・業務内容の分析・見直しを行い、職員の適正配置とチームワークの再構築を図ることで生産性の向上と業務効率化を推進する
- ・設備の老朽化に伴い、計画的な修繕および設備更新を実施し、安全で安定したサービス提供体制を維持する
- ・地域関係団体との連携を強化し、地域に根ざした公益的な取組を積極的に推進する

② 重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

- ・デイサービスにおける営業活動を強化し、新規利用者の獲得および稼働率の向上を図る
- ・退去後の空床期間を7日以内に調整かつ入院中の空床利用で収益の確保に努める
- ・ユニットシフトおよび業務マニュアルの見直しを行い、業務標準化・合理化を推進する
- ・ハラスメント・虐待・権利侵害に関する職員研修を実施し、法令遵守および福祉専門職としての倫理観の醸成を図る
- ・ICT機器の導入について検討し、効果的な業務改善を進める
- ・家族連絡ツールを活用した発送業務の効率化を推進し、事務負担の軽減を図る

【地域における公益的な取組】

- ・北仙台地区ふくし事業所連絡会を通じて、地域福祉ネットワークの強化を図る
- ・子ども食堂（地域食堂）を再開し、地域住民の交流促進および居場所づくりに貢献する
- ・認知症カフェを通して、認知症の方の社会参加及び住民同士の相互理解を図る
- ・地域住民を対象とした施設見学会を実施し、当事業への理解促進と信頼関係の構築を図る
- ・実習教育等の機会を通じて、次世代を担う人財の育成に取り組む
- ・連合町内会と連携し、合同避難訓練の実施および防災対策の推進に取り組む

③ 事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、令和7年12月末日時点での利用率）

No	事業所名	定員 (人)	令和8年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.4	97.6
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.0	89.6
3	せんだんの館デイサービス	40	75.0	63.5
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	—	76/月(件)	73人/月(件)
備考				

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 入浴装置一式の更新について（3年計画の3年目）	
必要性	開設当時導入して以来20年が経過し、故障頻度の増加と交換部品の製造が終了したため
購入内容	入浴装置、電動昇降シャワーチェア、フラット担架、コンパクトストレッチャー各2台
発注予定先	（株）ジェー・シー・アイ
予定価額	13,090,000円（税別）
支払方法	84回払／概算月額リース料176,800円（税別）
支払資金	経常資金を充当

2. 福祉車両の更新について	
必要性	開設当時導入して以来20年が経過し、故障頻度が高いため
購入内容	キャラバン1台
発注予定先	日産リース（株）
予定価額	4,620,000円（非課税） ※別途、販売諸費用等121,440円
支払方法	60回払／概算月額リース料65,000円（非課税） ※残価設定あり
支払資金	経常資金を充当

3. 電話設備更新について	
必要性	保守期限切れ及び電話機の増設や故障時の修理が不可となっているため 将来的に PHS を廃止し、介護記録・ナースコール・内線の一本化に備えるため
購入内容	電話設備機器一式
発注予定先	東通インテグレート（株）
予定価額	7,240,000円（税別）
支払方法	72回払／概算月額リース料86,200円（税別）
支払資金	経常資金を充当

4. W i - F i 環境増設工事について	
必要性	見守り機器導入及び介護記録ソフトの円滑な活用のため
購入内容	W i - F i 機器一式
発注予定先	東通インテグレート
予定価額	1,970,000円（税別）
支払方法	一括払い
支払資金	経常資金を充当

5. 吸収冷温水機オーバーホールについて（2機）	
必要性	老朽化による故障頻度の増加がみられ、空調設備に影響するため
購入内容	吸収冷温水機分解整備、薬品洗浄作業
発注予定先	同和興業（株）他3社見積りを予定
予定価額	2機同時作業で29,000,000円（税別）
支払方法	108回払／概算月額リース料269,000円（税別）
支払資金	経常資金を充当

(5) 認知症介護研究・研修仙台センター

①目標

東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。

②重点項目と主な内容

【制度に基づく取組】

1. 研究事業

研究事業補助金等による研究事業

(1) 研究調査

運営事業費による研究事業／厚生労働省委託事業／日本学術振興会 科学研究費助成事業／厚生労働科学研究費補助金 認知症政策研究事業

(2) 研究の取り組み

研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果報告会の開催／3センター合同研究成果報告会の開催

(3) 研究成果の広報

DCnet 等による各研究の成果公表

2. 研修事業

都道府県等の研修委託費等による研修事業

(1) 認知症介護指導者養成研修の実施

第1回：6月22日～8月28日 第2回：10月19日～12月18日

(2) フォローアップ研修の実施

2回開催（日程調整中）

3. 運営事業

運営事業補助金による事業

(1) センター運営協議会・外部評価委員会の開催

(2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会の開催

(3) 認知症介護セミナーの開催（法人における共同事業として）

(4) 認知症介護教育・研修の活動支援

(5) 認知症介護指導者スキルアップセミナーの開催

(6) 認知症介護実践者等養成事業に係る行政担当者セミナーの開催

4. その他事業

(1) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業

(2) センター企画研修事業（認知症を学ぶ30分ナイトセミナー、認知症カフェモデレーター研修）

(3) 仙台市認知症ピアサポート活動支援業務

(4) 認知症チームケア推進研修

【地域における公益的な取組】

1. 土曜の音楽カフェ♪（認知症カフェ）の企画・運営（毎月第1土曜日）

2. おれんじドア運営の支援

3. 認知症の人と家族への一体的支援事業の取組支援

③研修別目標と前年度実績の比較

No	研 修 名	定員(人)	令和8年度目標(人)	前年度実績(人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	20	20
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	20	19
2	第1回フォローアップ研修	20	20	6
	第2回フォローアップ研修	20	20	9

④主な修繕・改修工事・物品等購入予定

1. 屋上等防水補修工事	
必要性	築 23 年経過したことに伴う破損・経年劣化のため。
購入内容	3 階宿泊棟バルコニー床面、研究棟バルコニー床面、3 階屋上エレベーター屋根の防水工事。
発注予定先	西松建設（株）
予定価額	9, 6 8 0, 0 0 0 円（税込）
支払方法	一括払い
支払資金	自己資金